

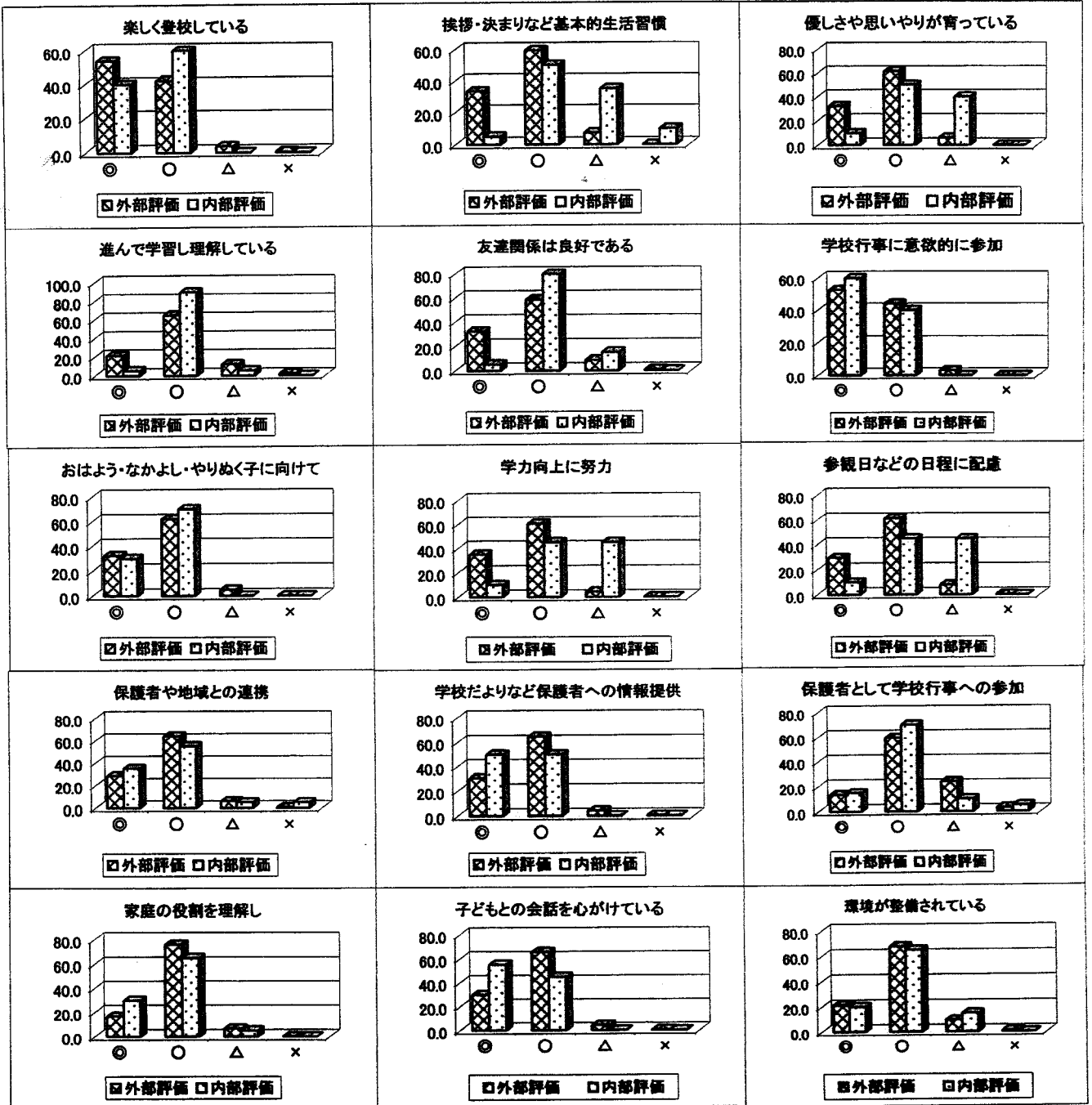
学校だより 臨時号

平成 20年 2月 2日
京都市立南太秦小学校
校長 林 政広

平素は本校学校教育推進のために、ご理解とご協力ありがとうございます。
平成20年度2回目の学校評価の結果をご報告いたします。今回も多くの保護者のご協力をいただくことができ集計の結果を教職員・学校運営協議会で話し合うことができました。

ねらい

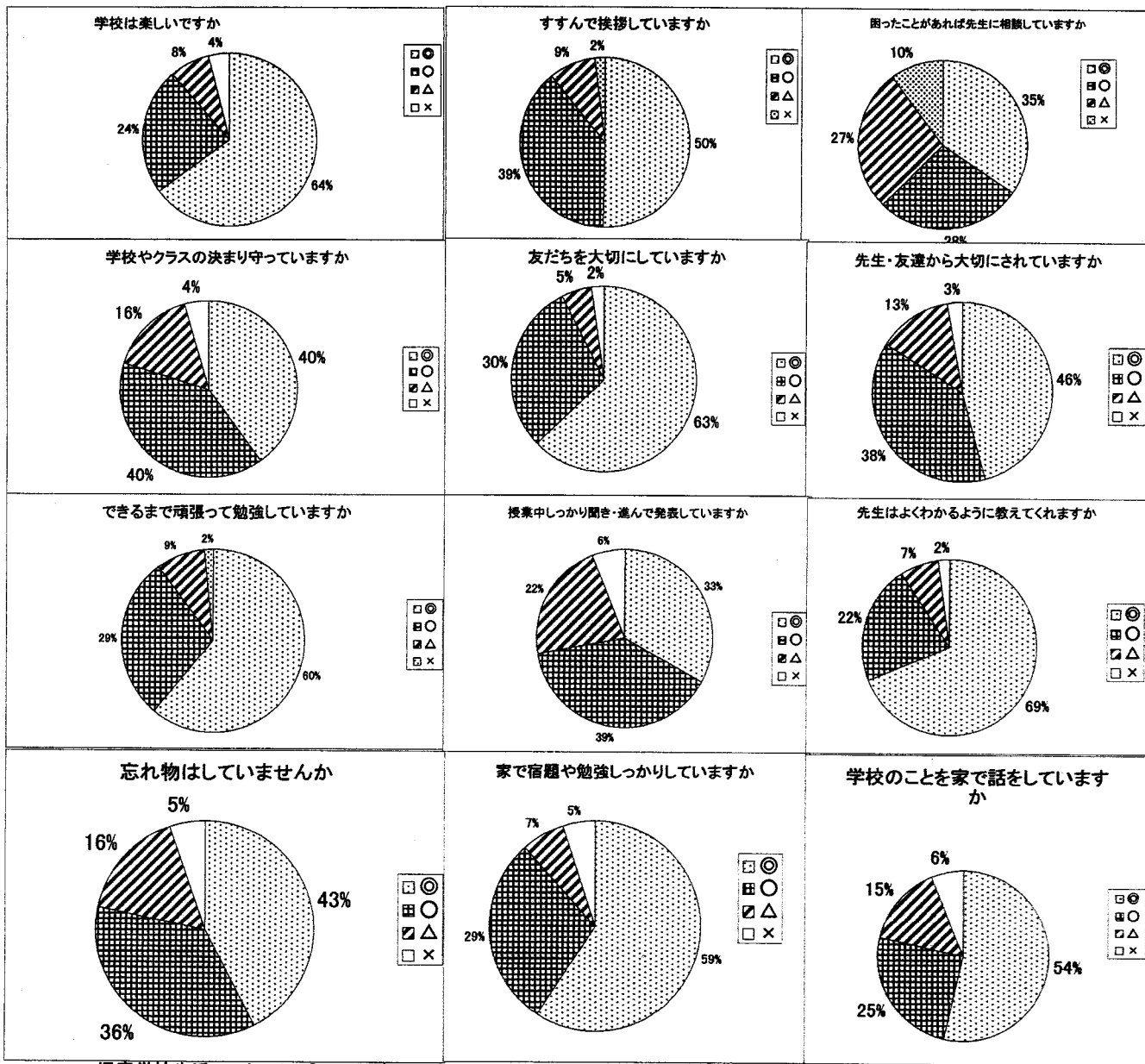
本校の教職員や保護者の皆様、そして児童が教育目標『友だちを大切にし、心豊かでたくましく生きる子の育成』への達成状況を総合的・客観的に評価し、学校運営協議会理事の意見をいただき、その結果に基づいて、改善策をたて、学校教育のさらなる充実を図ることを目標とします。



学校評価年間計画

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 5月 評価項目の検討 (学校・学校運営協議会) | 12月 2回目の学校評価(保護者・児童・教職員) |
| 7月 1回目の学校評価(保護者・児童・教職員) | 1月 集計及び考察・改善点の確認
(教職員・学校運営協議会) |
| 9月 集計及び考察・改善点の確認
(教職員・学校運営協議会) | 2月 学校運営協議会にて検討
学校だよりにて結果報告 |
| 10月 学校運営協議会にて検討
学校だよりにて結果報告 | 3月 次年度の課題の明確化 |

児童のアンケート結果



児童学校生活アンケート ◎…よくあてはまる ○…あてはまる △…どちらともいえない ×…当てはまらない

分析・考察

* 1回目調査と比べ、学校がとても楽しいと答えた児童が58%から64%に増えている。また、困ったことがあれば先生に相談する。についても、よく当てはまる。あてはまるの合計が58%から63%と増加している。このことは教師と児童の信頼関係が深まっていることを示している。

* 「挨拶・決まりなど基本的な生活習慣」「優しさや思いやりが育っている」「友達関係は良好である」については、外部評価は90%以上の良好な評価を受けているが、教職員は集団の姿の中から子どもたちを評価し、まだまだ不十分な点があると考えている。

* 「進んで学習し、理解している」については保護者の評価・教職員の評価は共、向上している。

* 「学力向上」については、外部評価はよく当てはまる。あてはまるの合計が95.4%を示しているが、教職員は不十分と考えている。必ずしも保護者と教師との傾向が一致していない点、興味深いものがある。

* 「やさしさや思いやりが育っている」について、教職員は40%が不十分と感じている。集団生活の中での身に付いていない子どもたちの姿が見られることが考えられる。

改善すべき点

* 学校は、子どもたちが興味を持って生き生きと学習し、わかりやすい授業になるよう努める。

家庭でも家庭学習定着のため「家庭学習のふりかえり」を活用していただき家庭学習が身につくよう子どもたちを支援していただくことが大切である。

* 思いやりの心や人権意識の育成は、学校・家庭・地域が協力して共に育てていくことが大切である。家庭・地域・学校が常に声をかけ、共に育てていく連携を今後もより一層強めて、児童の教育に当たっていくことで教育効果が現れると考える。

* 担任は、児童とのコミュニケーションをより一層図ることに努め、児童理解を推し進める。

* 児童のアンケート結果は学校・学級運営にとって大変参考になる。子どもたちが楽しく充実した学校生活を送れるように活用していきたい。

* アンケート結果を基に、さらに改善に努め、地域・保護者・学校運営協議会の協力のもと学力向上・健全育成に向けて努力していきたい。

学校運営協議会より

(児童アンケートより)・学校は楽しいと考えている児童が増えたことは、よいことです。・児童評価の評価で△どちらともいえないは、×ではなく、当てはまると考えてよいのではないのでしょうか。・「学校やクラスの決まり」・「授業中しっかり聞き発表」・「こまったことがあれば先生に」の問いから、やや消極的な子どもの姿がうかがえます。・学校での子どもの姿を一番よく見ているのは先生方なので児童との接点をしっかり持って接していただきたい。・コミュニケーション力の弱さがうかがえる。

(外部評価から)・「参観日などの日程配慮」については、個人個人の理由があり全ての希望をかなえるのは、難しいと思える。・児童は学校での事を家庭で話していないと答えているのに、保護者は、子どもとの会話をしていると思っている。子どもの話を聞く努力が必要では。・保護者は、学校での子どもの姿をどの程度理解しているのか。(宿題・持ち物・提出物など)・落とし物を見ると新しいものや防寒着などが結構多いと思います。ランドセルの中の点検も含め家でのチェックが大切ではないか。地域行事の参加を通して地域と連携・交流を図っていただきたい。そんな中で育つ子どもの力も結構多いと思います。